

# たまちゃん通信

平成 28 年 3 月発行 75-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号  
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311  
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## NHKが『原節子 永遠に美しく』を放送

### 杉葉子元顧問が共演した思い出をロスで語る

NHKテレビは、平成 28 年 1 月 25 日の「クローズアップ現代」で、昨年 9 月に 95 歳で亡くなった女優・原節子さん(写真:右:撮影 秋山庄太郎)を、『原節子 永遠に美しく』のタイトルで取り上げました。

昭和 10 年、15 歳でデビューした原さんは、戦前から戦後にかけて、巨匠と呼ばれる多くの監督の作品に出演し、映画誌が数年ごとに行うオールタイムベストテンでたびたび、女優部門第一位を飾りました。

また、銀幕を去って 50 年以上たってもなお、人々の心をとらえてきました。「なぜ原節子は『伝説』であり続けるのか。ある映画研究者は『原節子が日本人の理想を演じ続けてきたからだ』と語っている」と、番組では紹介していました。

そして、新たに発掘された戦前のフィルムや、原さんと共演した往年の名女優の証言をとおして、その魅力をひもといていました。その中に、日本のお手玉の会の元顧問でロサンゼルスに住む、女優の杉葉子さんのインタビューがありました。



杉さんは、昭和 24 年に公開されて大ヒットした『青い山脈』で、原さんと共演しました。映画では、原さんが教師役、杉さんは教え子を演じました。公開から 2 週間で 500 万人を動員した映画でした。

杉さんのお話です。

「やはりこれは、私の心の原点というものかしらね。日本に民主主義が根づいた、画期的なそういう意味の映画なんです。ただ若く楽しい青春映画だけじゃなしにね。彼女もそれ(民主主義)を体現する方だったから。私も同じように行動するというのは『青い山脈』の精神だと思います」

杉さんには、今も忘れられない光景があります。

(上：原さんを語る杉さん、下：「青い山脈」撮影が深夜に及んだ時の原さんの姿でした。

の一場面、手前が原さん、中央が杉さん) 「深夜の撮影の時のことです。我々でさえもひっくり返ってごろごろ寝ていたのに、(原さんは)真夜中まで立って服のシワを気にされて。大スターでちやほやされているのが(普通なのに)、むしろ修道院の尼僧のような、厳しい、そういうようなね。やっぱり女優魂に精魂を込めたというような、そういう方だと思って。」

杉さんは、67 年前の映画の写真を、今も寝室に飾っているそうです。

(記事と原さんの写真は、NHKのホームページから引用。テレビ画面の撮影は、森勝代さん(和歌山))



# たまちゃん通信

平成 28 年 3 月発行 75-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号  
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311  
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## 新居浜市で『市民活動交流会』を開く

### まちづくり協働オフィスに登録の 50 団体集う



新居浜市の「まちづくり協働オフィスにないて会議」主催の市民活動交流会が、平成 28 年 2 月 20 日(土)、リーガロイヤルホテル新居浜で開催され、50 の登録団体と市民 200 人が参加しました。開会式で、石川勝行市長は「きょうは、お互いの活動を発表しあい、体験を通して交流を深め、お互いに理解しあい、共感しあいましょう」とのあいさつがありました。(写真左上)



交流会は、『「来る」×「見る」×「触れる」=交流』のスローガンですすめられ、日本のお手玉の会新居浜支部も登録団体として出席しました。

展示パネルには、NHKの「あさいち」で放送された、「スゴ技Qすごいぞ『お手玉』」として取り上げられ、お手玉をしている時の「前頭前野」の働きを、画像で主介されたものを掲出しました。

また、同じくNHKの「ためしてガッテン」で放送された、「認知症&受験に勝つ!」「脳フル回転する昔遊び『お手玉』」の画像も、パネルで紹介しました。(写真右は、難しいパズルを解いているときの脳(左)と、2個のお手玉をしている時の脳の様子(右)。お手玉をしている時の方が前頭前野は活性化している)



これらの画像に、参加した人たちは、一様に驚き、お手玉の素晴らしさを実感していました。また、訪れて人には、新居浜支部が、新居浜市平成 26 年度「高齢者生きがい創出事業」を担当した際に開発した、「『うさぎとかめ』の『お手玉体操』」を体験していただきました。

高齢者も、小学生も、一所懸命に体験しながら、「これなら私にもできる」と、喜んでいただき、たくさんの人が体験していただきました。

また、お手玉の体験コーナーに、新居浜市のゆるキャラ「新居浜まちゆり」がやってきました。小学生のみなさんは、まちゆりを取り囲み、まちゆりのお腹に入っている大きなお手玉を取り出しで、お手玉の遊び方



紹介するという、ほほえましい光景が見られました。(写真上段下)